

市民公開講座

「あなたの大切な人と 最期の時をどのように過ごしたいですか？」



映画「終わりよければすべてよし」上映と パネルディスカッション

予約不要、入場無料

この市民講座は公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団の助成を受けています

日時：平成 24 年 5 月 20 日（日曜） 午後 1 時～4 時  
（12 時 30 分開場）

場所：九州大学医学部百年記念講堂 大ホール

第一部 映画「終わりよければすべてよし」（129 分）上映

第二部 パネルディスカッション

テーマ「いま この地域でできること」

司会 ホームケアクリニック 稲津 佳世子氏

パネラー： 青葉クリニック 医師 伊藤 新一郎氏

在宅での看取りを経験されたご家族 上別府 洋子氏

ほほえみデイサービスセンター 管理部長 寺田 圭子氏

グループホーム青葉 管理者 藤本 雅子氏



【趣旨】

日本の超高齢化により、いわゆる「老後」と言われる時間が長くなっています。

「終わりよければ全てよし」となるように、自分の最期が近付いた時、あなたは誰とどのようにどこで過ごしたいと考えていますか？

**避けて通れない最期の時間の過ごし方について、**

**元気な今だからこそ 少し考えてみませんか？**

福岡東在宅ネットワークでは、これまで医療・介護などの専門職が、この地で最期を迎える人たちのお世話をいかに進めて行くべきか相談し合ってきました。出来るだけご本人の希望を叶えたいと思うのですが、一番のネックはお世話をする方に認知症などがあり ご本人の希望がわからないことでした。



皆様の大切な人の「終わりを良くする」きっかけに  
どうぞお気軽にご参加ください。